

シリーズ  
認定看護師の紹介  
第4回 摂食嚥下障害看護認定看護師

当院で活躍する認定看護師を紹介します

超高齢化社会を迎える中、摂食嚥下機能に障害を抱える患者さんは、ますます増加することが予測されます。1人でも多くの患者さんが「安全に」かつ「楽しく」食べ続けられるように援助することが私たちの役割です。1人1人の患者さんに合わせた食事形態やリハビリについて、医師や歯科医師、看護師、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士など多職種で検討し、日々介入しています。当分野の認定看護師は医学部附属病院には現在1名のみですが、歯学部附属病院にも1名おります。2021年5月より、認定看護師2名と歯科医師で医学部附属病院内の院内ラウンドを開始しました。2021年10月の病院一体化を視野に入れ、医科歯科連携の更なる推進、また地域への貢献にも力を入れてまいります。



摂食嚥下障害看護認定看護師  
瀬戸 さやか

医療  
連携だより

東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針  
●理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院  
●目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供  
2. 人間的豊かな医療人の育成  
3. 高度先進医療の開発と実践  
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター TEL: 03-5803-4655  
(地域連携室) FAX: 03-5803-0119  
予約専用FAX: 03-5803-0285



東京医科歯科大学  
医学部附属病院  
医療連携支援センター長  
(病院長補佐)  
井津井 康浩 (いつい やすひろ)

センター長のご挨拶

新型コロナウイルス感染症の第5波への対応、ワクチン接種への協力などで、医療機関の皆様は慌ただしい夏を過ごされていることと存じます。日頃から医療連携のご協力や、あたたかいご支援をいただき、心より感謝いたします。さて26号となります「医療連携だより」も「医学部附属病院」という名称での発行は今回が最後となります。「認知症予防外来」の開設、整形外科による神経難病先端治療のご案内、泌尿器がんの臓器温存手術、骨盤臓器脱の最先端治療、摂食嚥下障害看護認定看護師など、当院の特徴的な取り組みを紹介しています。10月からは「東京医科歯科大学病院」と名称が変更します。それともなると、連携病院の皆様や患者さんにご迷惑をおかけしないように万全に準備を整えております。初診事前予約についても説明がありますので、ぜひお読みください。今後ともよろしく申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力ください  
<https://www.tmd.ac.jp/medhospital/covid-19/contribution/>

東京医科歯科大学は2つの基本理念で、新型コロナウイルス感染症に正面から取り組んでいます。

- 東京医科歯科大学では「医学部附属病院における新型コロナウイルス感染重症・中等症陽性患者の受入体制の構築」を、最優先事項に位置付け、全学的な支援を行っております。
- ポスト新型コロナウイルス感染症の社会に備えた医療体制を整えます。ご理解、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。配信をご希望される場合は、地域連携室へお電話をお願いいたします。



TEL: 03-5803-4655

カルテ閲覧のご案内

当院と連携協定を結んでいる医療機関様に限り  
地域連携システムを利用して、当院カルテの閲覧が可能になります

連携医療機関様の大きな負担なしで利用可能です

インターネットに接続できるパソコンが1台あればOK!  
右記の要件を満たしていれば、既存の端末を使用しても構いません。



要件

1. インターネットに接続できる環境があること。また、PCの設置場所は施錠できる環境にあること。
2. Microsoft社のサポート期間内のOSにて動作するパソコンを使用すること。
3. Microsoft社のサポート期間内のInternet Explorerを使用すること。
4. 有償のウイルス対策ソフトを実施し、Winnyなどのファイル共有ソフトを削除すること。
5. PDFファイルの閲覧にはAdobe社のサポート期間内のPDF閲覧ソフトを使用すること。

★これらの要件を満たしていれば、申込みいただけます!

1. 申請書の提出。
  2. 提出いただいたのち、接続させていただけるか検討いたします。
  3. 決定後、順次連携医療機関様へ伺って、接続を行います。
- ※申込み多数の場合は、利用するまでにお時間がかかる場合がございます。

連携協定及びカルテ閲覧の申込み 医療連携支援センター 03-5803-4391

医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談



感染対策のポスターを貼る  
医療連携支援センタースタッフ

TOPICS

- 医療連携支援センター長のご挨拶
- 脳神経内科のご紹介
- 整形外科のご紹介
- 泌尿器科のご紹介
- 「東京医科歯科大学病院」へ名称変更 Q&Aと医科・歯科の初診事前予約について
- 認定看護師の紹介  
「第4回 摂食嚥下障害看護認定看護師」



8月4日の「栄養の日」(公益社団法人日本栄養士会が制定)を記念した昼の病院食



摂食嚥下障害看護認定看護師による病棟での嚥下訓練





## 診療科のご紹介

### 脳神経内科

#### MCI前に適確に診断、治療方針を立てる認知症予防外来がスタート

認知症の原因の約2/3はアルツハイマー病であり、軽度認知障害(MCI)を主な対象とする抗アミロイド療法臨床開発が進んでいます。認知症が進行した段階では抗アミロイド療法は無効ですので、MCI以前の段階で適確に診断し、治療方針を立て、認知症を予防する必要があります。本外来では、最先端の知識を有し経験豊富な医師が、主観的に「もの忘れ」を訴える人、認知症のリスクの高い人などに対して、最先端の検査(すでに導入しているアミロイドPETに加え、現在開発中のタウPET、マイクログリアPETや体液のバイオマーカー測定を導入した先端の診療)を用いて診断し、最適な予防療法や予防方法の指導を提供致します。

都中央部(千代田区、中央区、港区、文京区、台東区)におけるニーズに答えるため、当院脳神経内科と九段坂病院脳神経内科が連携した「認知症予防外来」を開設します。また、当院長寿・健康人生推進センターの脳ドック・オプション、九段坂病院健康医学センターの人間ドックの脳ドックオプションにおいて



認知症健診を行い、認知症予防外来との連携を通じて、多くの方が気軽に検査できる体制を整備しています。

※九段坂病院受診希望の場合には、  
<https://www.kudanzaka.com/news/2021/06/15/ninchi-yobou/>  
をご覧ください。

ご予約の際の紹介状の宛先 脳神経内科 認知症予防外来宛

### 整形外科

#### 神経難病先端治療

#### 脳表へモジテリン沈着症(シテローシス)、脊髄腫瘍、脊柱靭帯骨化症について

指定難病の脳表へモジテリン沈着症(シテローシス)は、くも膜下腔での持続的、反復的な出血により血液のヘモジテリンが脳、脊髄表面に沈着して、酸化ストレスにより様々な神経障害(難聴、小脳失調、脊髄障害など)を引き起こす病気で、当院では日本で最も多くの手術治療を行っています。脳神経内科と連携してキレート剤の内服治療も行っています。脊髄腫瘍は硬膜外や硬膜下、脊髄内より発生する腫瘍であり、四肢しびれ、歩行障害といった脊髄の機能障害を引き起こし、腫瘍の摘出が必要となることが多いです。当院は



脊髄腫瘍の症例数も豊富で、顕微鏡、術中神経モニタリングを使用し、安全な手術を行っています。脊柱靭帯骨化症(指定難病)は靭帯が骨化することにより脊髄が圧迫され脊髄障害を引き起こす病気で、当院の症例数は日本有数で、手術治療は最新のナビゲーション、神経モニタリングを使用し安全な手術を行っています。ご紹介方法は、当院地域連携室より神経難病先端治療外来をご予約頂き、外来受診時に神経所見診察、レントゲン検査やMRI検査を施行させていただきます。手術が必要な症状の場合は、必要に応じて脊髄造影検査など検査入院となります。その結果に応じて最終的に手術の必要性、方法を検討します。

脳表(表層)へモジテリン沈着症のMRI画像と硬膜修復術

ご予約の際の紹介状の宛先 整形外科 神経難病先端治療宛

### 泌尿器科

#### 泌尿器癌に対する根治と機能温存の両立と、骨盤臓器脱に対する最先端の治療を提供

根治と臓器機能の温存を両立させる「臓器温存治療」を希望する泌尿器癌の患者さんを対象とした「泌尿器がん臓器温存外来」、および骨盤臓器脱に対するロボット支援腹腔鏡下仙骨靭帯固定術(RSC)を開始しました。

臓器温存治療としては、前立腺癌に対する小線源療法を用いた前立腺部分切除、筋層浸潤膀胱癌に対する経尿道的膀胱腫瘍切除と化学放射線療法を併用し部分切除(膀胱部分切除)を行う4者併用膀胱温存療法、腎臓癌に対するミニマム創内視鏡下無阻血腎部分切除とロボット支援腎部分切除術を患者さんの病状に合わせて選択して行っております。

また、骨盤臓器脱は婦人科と泌尿器科の専門的な知識や技

術が求められるため、婦人科と合同でRSCチームを結成し、緊密に連携を図りながら診療を行っております。



手術支援ロボット(ダヴィンチ)と藤井晴久診療科長

ご予約の際の紹介状の宛先

- 泌尿器がん臓器温存外来→  
泌尿器科 泌尿器がん臓器温存外来宛
- 尿失禁・膀胱子宮脱外来→  
泌尿器科 尿失禁・膀胱子宮脱外来宛

# 2021年10月から一体化

## 「東京医科歯科大学病院」へ名称変更いたします



病院一体化に関する質問に回答します。



診察券番号や診療科名が変更になりますか?



いいえ。そのまま使えます。診療科名の変更もほとんどありません。連携病院の皆様にご負担をかけることがないように注意しながら病院一体化を進めます。



診療科や病棟、検査室などの場所が変わりますか?



大幅な移動はありません。もし移動になる場合は患者さんにご不便をおかけしないように案内係や案内表示を設置します。



病院名の変更でオンラインシステムやホームページが停止することがありますか?



ありません。速やかに名称変更を行い、ユーザーの皆様にご迷惑をおかけないように準備しております。



紹介患者さんや初診予約の方法が変更になりますか?



変更はありません。詳しくは下記をご覧ください。

### 医科

#### 医療機関からの初診事前予約について

お問い合わせ先 03-5803-4655 (地域連携室)

初診予約の最新情報は医療連携支援センター地域連携室のホームページをご覧ください。  
<https://www.tmd.ac.jp/renkei/renkei/yoyaku/>

FAX予約の場合



FAX:03-5803-0285 (受付時間 8:30~16:00)

上記番号に、紹介状・申込書を送信してください。速やかに当院よりFAXで「外来診療予約票」を返信します。

電話予約の場合



TEL:03-5803-4655 (受付時間 8:30~16:00)

上記番号に、電話をおかけください。その際に患者さんの氏名・生年月日・希望診療科名・予約希望日をお知らせください。

\*土日祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)、および受診日当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。  
\*時間外・休日などの申込み分は翌診療日にご連絡させていただきます。(FAX受信は24時間可能)

#### 患者さんからの初診事前予約について

患者さん用予約の場合



TEL:03-5803-4655 (受付時間 12:00~16:00)

患者さんからもお電話にてご予約を承っております。診療情報提供書(紹介状)は予め患者さんにお渡しください。直接患者さんとお話をして予約日を決定いたします。

\*土日祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)、および受診日当日の予約は受け付けておりません。また、翌日分の予約は14時までとなっております。

### 歯科

#### 初診事前予約について

初診予約デスク



TEL:03-5803-4300 (受付時間 12:00~16:00)

患者さんからもお電話にてご予約を承っております。診療情報提供書(紹介状)は予め患者さんにお渡しください。

\*土日祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)を除く